

医療機関への受診

受診先



●かかりつけ医・もの忘れ相談医

日頃体調が悪い時や持病で通院しているかかりつけの医師に相談しましょう。かかりつけ医の中には、認知症に関する一定の研修を受講した「もの忘れ相談医」もいます。また、症状に関するより専門的な医療相談を希望する場合には、かかりつけ医から専門医療機関を紹介してもらうこともできます。

認知症は早期の受診、診断、治療が重要！！

受診時は、「メモ」などを持参して相談しましょう。

- ・本人の経過
- ・本人や家族が心配になった出来事
- ・本人がこれまでにかかった病名、飲んでいる薬
- ・病状変化のスピード(急激に悪化、ゆるやかに悪化したのか)

受診が難しい場合は



●まずは家族が受診・相談する

本人の前で話しつらい事は、事前に電話や手紙、「高崎市もの忘れ相談連絡票」で伝えたり、ご本人が説明できない症状や生活の様子については、ご家族が同席して医師に伝えたりすることも可能です。受診を希望する病院に相談してみましょう。また、市でも月に1度、医師による認知症相談を行っています。(予約制)

●本人が少しでも納得できるような声かけを心がけましょう

「私達が心配だから、受診してほしい」

「元気でいてほしいから、悪いところがないかみでもらおう」

「今時はみんな気軽に脳の健康診断をしてもらっているんだって」無理に受診させる方法は、信頼関係を失い、後の治療に結びつかない場合もあります。ご本人の不安な気持ちを考えながら対応しましょう。

●認知症初期集中支援チーム

市では、認知症サポート医と複数の専門職による「認知症初期集中支援チーム」を設置し、チームによる支援を行っています。チームでは認知症が疑われる人の自宅を訪問し、支援方法と一緒に検討し、ご家族を支援する取り組みを行っています。相談・支援は無料です。

チームで
サポートします



●高齢者あんしんセンター

受診すべきかどうかがわからない、どこに受診したら良いかわからないなど、認知症の心配事は、お住まいの地域の高齢者あんしんセンターにご相談ください。また、各センターに1名ずつ、認知症地域支援推進員が配置されており、認知症についての相談や、認知症の人が安心して暮らせるまちづくりを進めています。

